

「中央アジア+日本」対話の枠組みによる運輸・物流分野地域協力量ロードマップ

1. 2015年11月24日のアシガバットでの「中央アジア+日本」対話・第10回高級実務者会合（以下「SOM」）の結果、運輸・物流分野での地域協力を強化することは、中央アジア地域と日本の間の相互の結びつきを強め、その安定と発展に資するとの考え方の下、農業に続く新たな優先的地域協力分野として運輸・物流が採択された。本ロードマップは、2016年2月3日の東京における「専門家会合」、2016年3月2日の東京における第8回「東京対話」及び2016年3月25日の東京における第11回SOMの際の「中央アジア+日本」対話参加国の意見を含み議論に基づき、中央アジア各国のそれぞれのニーズを考慮に入れて作成された。

2. 日本はこれまでODA等を通じて戦略的に各国の運輸インフラ整備を支援してきた。その実績も踏まえつつ、日本の技術と知見を共有することを通じた協力を行っていく。別表は、各国政府による要望の提出や民間企業との協議に際しての指針となる。なお、一国において実施された協力事例が十分な効果をもたらし、地域協力の推進にとって有益であると判断される場合、日本は要請に応じ、他国においても同様の案件の実施について検討する用意がある。

3. ロードマップの枠組みによる協力は、中央アジアにおいて活動している国際機関とも緊密に連携して域内の連結性を強化することを目指す。

4. 「中央アジア+日本」対話参加各国外務省は、具体的な案件の形成及び実施状況をモニタリングするとともに、具体的案件を地域協力の進展に役立てていくために、直接に又は外交ルートを通じて意見交換を行う。モニタリング等の結果は、「中央アジア+日本」対話・高級実務者会合においても報告される。

5. 現行のロードマップの履行状況や程度に応じ、必要な場合には、本ロードマップ（別表を含む。）を修正・追記することができる。

【別表】 今後想定される運輸・物流分野における協力例

分野	想定される協力例
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運輸・物流分野における政策担当者, ビジネス経営者等への人材育成支援 ・ 運輸・物流分野に関する企業セミナー
陸上輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路維持管理にかかる人材育成 ・ 道路行政アドバイザーの派遣 ・ 都市交通にかかる人材育成 ・ 雪害, 土砂災害対応含む道路防災にかかる人材育成 ・ 民間技術普及促進事業 ・ 鉄道分野にかかる人材育成
航空輸送	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空管制能力強化にかかる人材育成 ・ 航空管制分野に関する研修
国境管理, 税関	<ul style="list-style-type: none"> ・ 税関行政の研修 ・ 国際機関と連携した国境管理強化
物流分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道による物流発展についての協力 ・ 農産品流通政策アドバイザーの派遣 ・ 物流分野の本邦研修